

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 6 月 5 日現在

機関番号：17102

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K02341

研究課題名(和文) 座礁の文化史 - アメリカン・ルネサンス文学と海難事故

研究課題名(英文) Shipwrecks in the Literature of American Renaissance

研究代表者

高橋 勤 (Takahashi, Tsutomu)

九州大学・言語文化研究院・教授

研究者番号：10216731

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,900,000円

研究成果の概要(和文)：27年度中に本研究課題に関する二冊の共編著を刊行した。ひとつは『身体と情動 アフェクトで読むアメリカン・ルネサンス』(彩流社)、他方は『ジョン・ブラウンの屍を越えて—南北戦争とその時代』(金星堂)であり、特に前者に収録した論文ではAmasa Delanoの航海記 Delano's Voyage of Commerce and Discovery (1817)を深く参照した。また関連した研究成果としては、「背後の自然 『ウォールデン』再読」(『英語英文学論叢』2017年)等がある。ソロー文学を歴史的視座から考察するうえで一定の成果が得られたと確信する。

研究成果の概要(英文)：As part of the research activities, I co-edited *The Body and Emotions: Theorizing Affects in American Renaissance* (Sairyu-sha) and *The Body of John Brown: the Era of the Civil War* (Kinseido) in 2016. My essay in the former collection, in particular, investigates the connection between Herman Melville's "Benito Cereno" and Amasa Delano's *Delano's Voyage of Commerce and Discovery* (1817). Other related publications include "Nature in the Background: a Rereading of *Walden*" (*Studies in English Language and Literature*, 2017) and "A Fable of Interspecies Marriage: Gary Snyder's Poetics of the Wild" (*Studies in English Language and Literature*, 2018).

I do believe that the research goal stated in the grant proposal has been largely attained.

研究分野：19世紀アメリカ文学

キーワード：マサチューセッツ州コンコード ニューイングランド ヘンリー・ソロー ハーマン・メルヴィル ラルフ・エマソン 海難事故 海洋文学 環大西洋

1. 研究開始当初の背景

申請者は、2013年に『環大西洋の想像力 - 越境するアメリカン・ルネサンス文学』という図書を編者として刊行した。環大西洋の交通(旅行)と貿易が、文学的想像力を通してどのように作品に形象化されたかを問うた論集であったが、その際、海上交通の諸問題、すなわち船舶の事故や疫病の発生、あるいは航海の速度と安全性を高めるための技術革新という問題の考察が課題として残された。周知のとおり、アメリカン・ルネサンス文学を生み出した19世紀中盤のアメリカ社会は、大西洋貿易が飛躍的に増大し、さらにヨーロッパへの留学、旅行への関心が高まった時代である。他方において、アイルランドやドイツから大量の移民が押し寄せたが、そうした状況下、船舶の難破、座礁、あるいは伝染病の発生などは深刻な社会問題となっていた。

1849年、ヘンリー・ソローはコッド岬への旅の途上、コハセット海岸沖で座礁した、アイルランドの移民船セント・ジョン号の事故現場を目撃している。その翌年イタリアからの帰国途上にあったマーガレット・フラワーが、ニューヨーク州ファイヤー・アイランド沖で船の座礁に巻き込まれている。エマソンの依頼を受けたソローはフラワーの遺品探しに出かけるのだが、そうした経緯が『コッド岬』の第一章「難破」に投影されたことは想像に難くない。申請者は、このテーマについて「事故と座礁の物語 - アメリカン・ルネサンス文学における悲劇性」(2013年5月)という研究発表を行ったが、本研究課題はこうした背景を踏まえて着想された課題であり、より実証的な歴史研究をとおして、アメリカン・ルネサンス文学を再考する試みである。

2. 研究の目的

本研究は、18世紀後半から19世紀初頭における航海記に注目し、アメリカ・ロマン

主義文学との関連性を考察することである。研究対象をおもに東部ニューイングランド地方に絞り、商船、移民船、捕鯨船の文化史を調査するとともに、伝染病、難破、座礁等の事故が文学的想像力においてどのように形象化されたかを考察する。

本研究課題は、申請者がこれまで受給した研究課題とともに、ニューイングランド、特にマサチューセッツの文化史研究の一環であり、アメリカ・ルネサンス文学を文化史的に捉える試みである。より具体的には、

3. 研究の方法

本研究は以下の三つの側面から遂行される。

1. 18世紀後半から19世紀初頭におけるアメリカの海洋ナラティブについて調査する。より具体的には、Amasa Delano, Owen Chase, Richard Henry Dana らの航海記を参照するほか、*Romantic Shipwreck Narratives* (Trent, 2007) 等のアンソロジーを用いて調査を進める。
2. アメリカン・ルネサンス文学における海洋小説を検討し、特に船上における伝染病の発生、難破、座礁等のモチーフがどのように形象化されたかを考察する。
3. すでに学会で研究発表した「ベニト・セレーノ」論(日本アメリカ文学学会、2011年10月)、『コッド岬』論(九州アメリカ文学学会、2013年5月)を論文にまとめ、将来的に海洋小説論を単著または共著の形で刊行する。

4. 研究成果

2016年度中に本研究課題に関する2冊の共編著を刊行した。ひとつは『身体と情動- アフェクトで読むアメリカン・ルネサンス』(彩流社)他方は『ジョン・ブラウンの屍を越えて- 南北戦争とその時代』(金星堂)であり、特に前者に収録した論文「不安の

感染-「ベニト・セレーノ」における政治と情動」ではメルヴィルの作品の典拠となった Amasa Delano の航海記 *Delano's Voyage of Commerce and Discovery* (1817)とを参照し、メルヴィルが翻案する過程において人物の心理(情動)と同時代の政治性をいかに融合したかを論じた。また関連した研究成果としては、「根をもつということーソローの文化論」『ヘンリー・ソロー研究論集』(41号、2015年)、「背後の自然ー『ウォールデン』再読」(『英語英文学論叢』2017年)、「異種混交の寓話ーゲーリー・スナイダーにおける野生の詩学」『英語英文学論叢』2018年)がある。ソロー文学を歴史的視座から考察するうえで一定の成果が得られたと確信する。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 3 件)

1. 高橋勤「異種混交の寓話ーゲーリー・スナイダーにおける野生の詩学」『英語英文学論叢』(九州大学英語英文学研究会)第68集、2018年、pp. 1-13.
2. 高橋勤「背後の自然ー『ウォールデン』再読」『英語英文学論叢』(九州大学英語英文学研究会)第67集、2017年、pp. 1-18.
3. 高橋勤「根をもつということーソローの文化論」『ヘンリー・ソロー研究論集』(日本ソロー学会)41号、2015年、pp. 11-20.

〔学会発表〕(計 4 件)

1. 高橋勤「ソローの影響力」(司会および研究発表)日本英文学会九州支部大会シンポジウム、於長崎大学、2017年10月21日.
2. 高橋勤「野生の文化論ーソローからレヴィ=ストロースへ」(招待発表)日本英文学会九州支部大会、於中村学園

大学、2016年10月23日.

3. 高橋勤「エマソンの書き換えー弔辞「ソロー」における思想の訣別」九州アメリカ文学会、於九州大学、2016年5月7日.
4. 高橋勤“The Poetics of the Wild: From Thoreau to Gary Snyder.” (招待発表)International Symposium on Eco-poetics, Ekphrasis and Gary Snyder Studies. Hunan University, China. November 12-15, 2015.

〔図書〕(計 2 件)

1. 竹内勝徳・高橋勤編著『身体と情動ーアフェクトで読むアメリカン・ルネサンス』(竹内勝徳との共編)彩流社、2016年。A5版 327頁。執筆担当 pp. 269-87.および「あとがき」
2. 松本昇、高橋勤、君塚淳一編著『ジョン・ブラウンの屍を越えてー南北戦争とその時代』()金星堂、2016年、A5版 356頁。執筆担当 pp. 114-34.および「あとがき」

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織 九州大学

(1)研究代表者

高橋 勤 (TAKAHASHI, Tsutomu)

九州大学・言語文化研究院・教授

研究者番号：10216731

(2)研究分担者

()

研究者番号：

(3)連携研究者

()

研究者番号：

(4)研究協力者

()